

1 採用予定人員

宮崎県公報 別冊

試験名	宮崎県	警視庁	計
警察官 A（男性）	19名程度	3名程度	22名程度
警察官 A（女性）	5名程度		5名程度
警察官 A（情報工学）	1名程度		1名程度

2 受験資格

(1) 年齢等

種類	都県	年齢等	学歴
警察官 A（男性）	宮崎県	平成2年4月2日以降に生まれた男性	学校教育法の規定による大学（短期大学を除く。）の卒業生若しくは令和8年3月末日までに卒業見込みの者又は志望する各都県の人事委員会がこれと同等以上の学力があると認める者
	警視庁（東京都）	平成2年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた男性	
警察官 A（女性）	宮崎県	平成2年4月2日以降に生まれた女性	
警察官 A（情報工学）	宮崎県	平成2年4月2日以降に生まれた者	

※ 卒業見込者については、指定する期日までに卒業できない場合、採用される資格を失います。

(2) 次のうちいずれか一つに該当する者は受験できません。

- (ア) 日本国籍を有しない者
- (イ) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (ウ) 志望する都県の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (エ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

※ 警視庁関係の詳細は直接警視庁にお問い合わせください（問合せ先は p.8 参照）。

(3) 警察官 A（情報工学）については、教養試験の日までに、独立行政法人情報処理推進機構が実施する以下の国家試験のいずれかに合格している者

- ① ITパスポート試験
- ② 情報セキュリティマネジメント試験
- ③ 基本情報技術者試験
- ④ 応用情報技術者試験
- ⑤ ITストラテジスト試験
- ⑥ システムアーキテクト試験
- ⑦ プロジェクトマネージャ試験
- ⑧ ネットワークスペシャリスト試験
- ⑨ データベーススペシャリスト試験
- ⑩ エンベデッドシステムスペシャリスト試験
- ⑪ ITサービスマネージャ試験
- ⑫ システム監査技術者試験
- ⑬ 情報処理安全確保支援士試験

※ 警察官 A（情報工学）を受験する場合は、教養試験当日の受付において、合格証明書又は合格したことを証明する書類の原本を提示して、その写し（コピー）を提出してください。

3 試験日・試験種目・試験地等

(1) 第1次試験

試験種目	試験日	試験地	試験会場
教養試験 適性検査 論文試験 ※ 適性検査・論文試験は、第2次試験種目ですが、第1次試験日に実施します。	5月11日（日） 受付開始 8：00 ※ 資格加点の確認（証明書類の原本の提示、写しの提出）は、受付にて行います。 試験室入室 8：30 教養試験 9：00～11：30 適性検査 12：30～14：30 論文試験 14：50～16：20	宮崎市	宮崎県庁防災庁舎（宮崎市橘通東 1-9-18）
身体測定 体力検査 専門試験（情報工学のみ）	5月12日（月）～5月16日（金） のうち宮崎県警察本部が指定する日 専門試験 原則体力検査実施日の午前中に実施	宮崎市	宮崎市南部記念体育館（宮崎市恒久南 2-1-5）

※ 「身体測定・体力検査」は、警視庁採用試験では第2次試験で実施しますので、警視庁にお問い合わせください（問合せ先は p.8 参照）。

※ 警視庁を第1志望とする受験者については、第1次試験は、教養試験のみ実施します。

(2) 第2次試験

試験種目	試験日	試験地	試験会場
適性検査 論文試験	第1次試験日に実施	宮崎市	第1次試験合格通知書により、 通知します。（※1）
面接試験	7月2日（水）～7月5日（土） のうち宮崎県警察本部が指定する日		

※1 第2次試験において身体検査を実施します（試験の方法等はp.3・5参照）。

※2 警視庁の第2次試験は、警視庁が実施しますので、試験日、試験地等については、警視庁から直接本人に通知があります（ただし、第1次試験合格者のみ）。

4 試験の方法

(1) 第1次試験

試験種目	配点		内 容																																																																								
	男性 女性	情報 工学																																																																									
教養試験 (150 分)	100 点	100 点	警察官として必要な一般的な知識及び知能についての多肢選択式による筆記試験〔出題数 5 0 問〕																																																																								
専門試験 (120 分)		200 点	情報処理技術等に関する専門的な知識、技術その他の能力についての多肢選択式及び記述式による筆記試験〔出題数 4 0 問〕																																																																								
身体測定	—	—	警察官として職務遂行に必要な身体を有するかどうかについての測定 職務遂行に支障のない身体状態であること																																																																								
体力検査	40 点	120 点	警察官として職務遂行に必要な体力についての実地検査 <table><tr><th>検査種目</th><th>得点</th><th>男性</th><th>女性</th><th>検査種目</th><th>得点</th><th>男性</th><th>女性</th></tr><tr><td rowspan="5">腕立て伏せ</td><td>5 点</td><td>44 回以上</td><td>38 回以上</td><td rowspan="5">20 m シャトルラン</td><td>5 点</td><td>95 回以上</td><td>62 回以上</td></tr><tr><td>4 点</td><td>40～43</td><td>34～37</td><td>4 点</td><td>81～94</td><td>50～61</td></tr><tr><td>3 点</td><td>36～39</td><td>30～33</td><td>3 点</td><td>67～80</td><td>41～49</td></tr><tr><td>2 点</td><td>32～35</td><td>26～29</td><td>2 点</td><td>54～66</td><td>32～40</td></tr><tr><td>1 点</td><td>20～31</td><td>10～25</td><td>1 点</td><td>45～53</td><td>30～31</td></tr><tr><td rowspan="5">反復横跳び</td><td>5 点</td><td>60 回以上</td><td>52 回以上</td><td rowspan="5">握力</td><td>5 点</td><td>62 kg 以上</td><td>39 kg 以上</td></tr><tr><td>4 点</td><td>57～59</td><td>49～51</td><td>4 点</td><td>58～61</td><td>36～38</td></tr><tr><td>3 点</td><td>53～56</td><td>46～48</td><td>3 点</td><td>54～57</td><td>34～35</td></tr><tr><td>2 点</td><td>49～52</td><td>43～45</td><td>2 点</td><td>50～53</td><td>31～33</td></tr><tr><td>1 点</td><td>40～48</td><td>35～42</td><td>1 点</td><td>35～49</td><td>25～30</td></tr></table> ※ <u>上記種目の合計点を警察官 A（男性・女性）は 4 0 点満点に、警察官 A（情報工学）は 1 2 0 点満点に換算します。</u> ※ <u>上記種目のうち、2 種目以上最低数値に満たない場合は、教養試験、専門試験、身体測定の結果にかかわらず、不合格となります。</u>	検査種目	得点	男性	女性	検査種目	得点	男性	女性	腕立て伏せ	5 点	44 回以上	38 回以上	20 m シャトルラン	5 点	95 回以上	62 回以上	4 点	40～43	34～37	4 点	81～94	50～61	3 点	36～39	30～33	3 点	67～80	41～49	2 点	32～35	26～29	2 点	54～66	32～40	1 点	20～31	10～25	1 点	45～53	30～31	反復横跳び	5 点	60 回以上	52 回以上	握力	5 点	62 kg 以上	39 kg 以上	4 点	57～59	49～51	4 点	58～61	36～38	3 点	53～56	46～48	3 点	54～57	34～35	2 点	49～52	43～45	2 点	50～53	31～33	1 点	40～48	35～42	1 点	35～49	25～30
検査種目	得点	男性	女性	検査種目	得点	男性	女性																																																																				
腕立て伏せ	5 点	44 回以上	38 回以上	20 m シャトルラン	5 点	95 回以上	62 回以上																																																																				
	4 点	40～43	34～37		4 点	81～94	50～61																																																																				
	3 点	36～39	30～33		3 点	67～80	41～49																																																																				
	2 点	32～35	26～29		2 点	54～66	32～40																																																																				
	1 点	20～31	10～25		1 点	45～53	30～31																																																																				
反復横跳び	5 点	60 回以上	52 回以上	握力	5 点	62 kg 以上	39 kg 以上																																																																				
	4 点	57～59	49～51		4 点	58～61	36～38																																																																				
	3 点	53～56	46～48		3 点	54～57	34～35																																																																				
	2 点	49～52	43～45		2 点	50～53	31～33																																																																				
	1 点	40～48	35～42		1 点	35～49	25～30																																																																				
資格加点	上限 15 点	—	4 ページ「◎資格加点について」に掲げる資格等について受験申込書の「資格加点希望者記載欄」に必要事項を入力（記載）し、かつ、第 1 次試験（教養試験）当日の受付において、資格を証明する書類の原本を提示して、その写し（コピー）を提出した場合に、一定点を加点します。 ※ 警察官 A（男性・女性）については、第 1 次試験の最高点（140 点）に達するまでとします。 ※ 警察官 A（情報工学）については、資格加点がありません。 （注 6）																																																																								

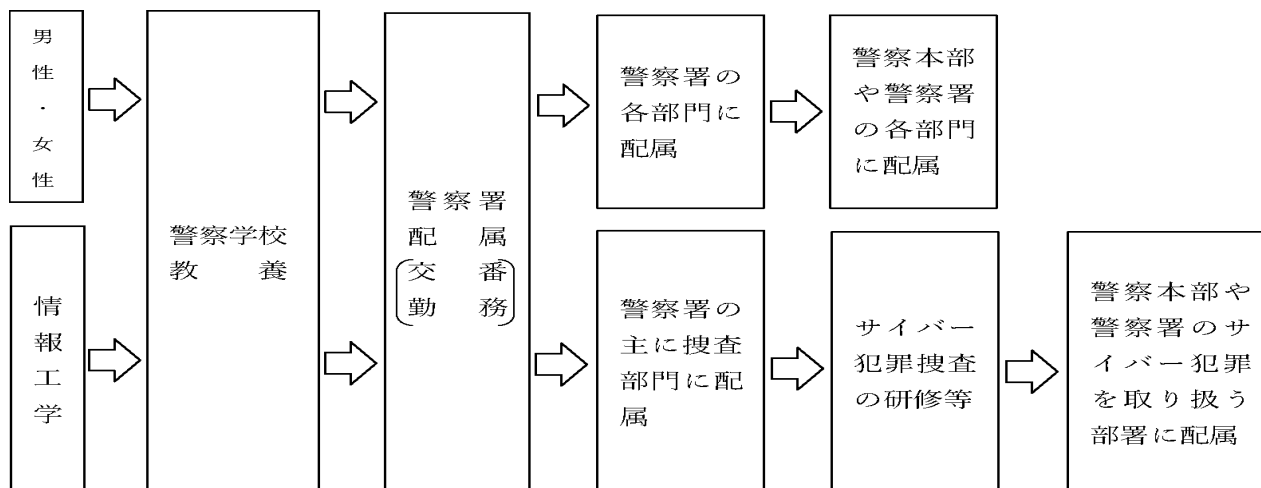
(2) 第2次試験

第二試験

試験種目	配点		内容								
	男性 女性	情報 工学									
適性検査	—	—	警察官としての職務遂行に必要な適性について検査します。								
論文試験 (90 分)	20 点	60 点	表現力、文章構成力等についての記述式による筆記試験								
面接試験	240 点	720 点	人柄、性向等についての面接試験（個別面接を 2 回実施します。）								
身体検査	—	—	職務遂行において必要な健康状態についての医学的検査								
			<table><tr><th>種 目</th><th>宮崎県における基準</th></tr><tr><td>視 力</td><td>両眼とも裸眼視力が 0.6 以上又は両眼とも矯正視力が 1.0 以上</td></tr><tr><td>色 覚</td><td rowspan="3">職務遂行に支障のないこと</td></tr><tr><td>聴 力</td></tr><tr><td>その他（胸部疾患、心臓疾患の有無等）</td></tr></table>	種 目	宮崎県における基準	視 力	両眼とも裸眼視力が 0.6 以上又は両眼とも矯正視力が 1.0 以上	色 覚	職務遂行に支障のないこと	聴 力	その他（胸部疾患、心臓疾患の有無等）
			種 目	宮崎県における基準							
			視 力	両眼とも裸眼視力が 0.6 以上又は両眼とも矯正視力が 1.0 以上							
			色 覚	職務遂行に支障のないこと							
			聴 力								
			その他（胸部疾患、心臓疾患の有無等）								
			※ 医療機関において各自で受診した身体検査書を提出していただきます。								
			※ 上記種目のうち、1 種目でも基準に満たない場合は、適性検査、論文試験、面接試験の結果にかかわらず、不合格となります。								

- (注) 1 一定の基準に満たない試験種目がある場合は、総合得点の状況にかかわらず不合格となります。
- 2 第1次試験の「教養試験、専門試験」では、受験票、写真票（写真を貼ったもの）、筆記具（HBの鉛筆、消しゴム等）、腕時計（スマートウォッチ等の通信機能が付いたものは使用不可）、昼食、ゴミ袋等を持参してください。
- ※ 試験会場のゴミ箱は使用できません。ゴミは各自で持ち帰ってください。
- 3 試験時間中は、スマートフォン・携帯電話の電源を切り、バッグ等にしまってください。
- 試験中にスマートフォン等を時計代わりに使用することはできません。
- 4 第1次試験の「身体測定・体力検査」では、受験票、筆記具、時計、屋内シューズ、運動着、タオル等を持参してください。
- 5 試験種目など試験内容や各試験種目ごとの基準は、志望都県によって異なります。
- 6 警察官A（情報工学）について、第2志望を警察官A（男性・女性）とする者は、警察官A（情報工学）で第1次試験に不合格となった場合、警察官A（男性・女性）の受験者として第1次試験を評価します。また、この場合、資格加点の対象となりますので、第2志望を警察官A（男性・女性）とする者は、受験申込書の「資格加点希望者記載欄」に必要事項を入力（記載）し、かつ、第1次試験（教養試験）当日の受付において、資格を証明する書類の原本を提示して、その写し（コピー）を提出してください。

5 警察官A（男性・女性）と警察官A（情報工学）のキャリアイメージ

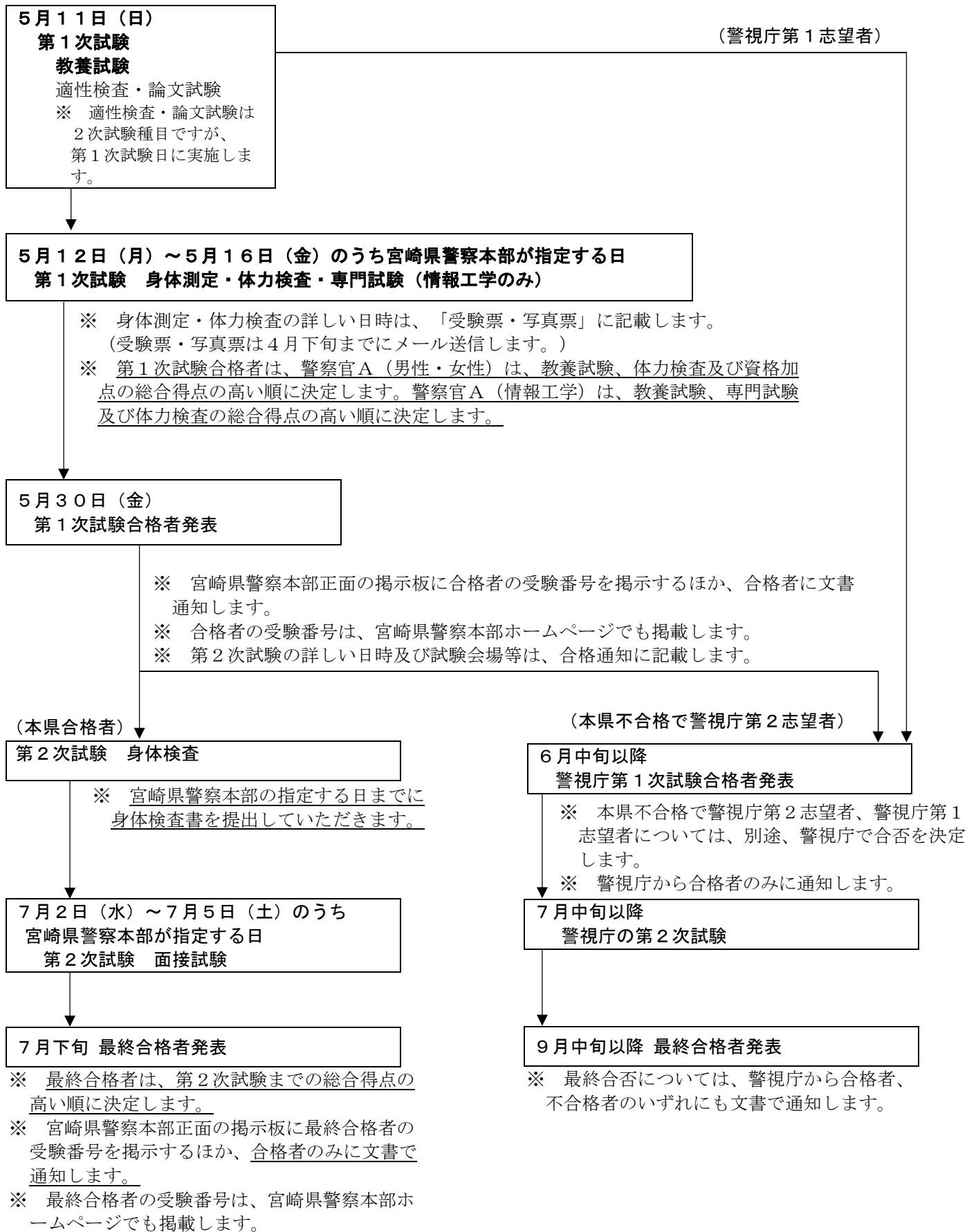


◎資格加点について

次に掲げる資格等の所有者に、第1次試験において、一定点を加点します。

科目	加点対象資格	加点要領	認定方法	注意事項
術科 (各最高5点)	柔道	【1点】 初段（公益財団法人講道館が認定するものに限る）	①合格証明書、スコアレポート又は段位を証明できる書類 ②スポーツ歴については、全国規模以上の大会での「選手の氏名」「大会名」「日付」「成績」がわかる資料	①受験申込書の「資格加点希望者記載欄」に必要事項を入力（記載）し、かつ、第1次試験（教養試験）当日の受付において、資格を証明する書類の原本を提示の上、写し（コピー）を提出した場合のみ加点対象とする。 ②複数の資格を有する場合については、最大15点までを加点する。
		【3点】 二段（公益財団法人講道館が認定するものに限る）		
		【5点】 三段以上（公益財団法人講道館が認定するものに限る）		
		【1点】 初段（公益財団法人全日本剣道連盟が認定するものに限る）		
	剣道	【3点】 二段（公益財団法人全日本剣道連盟が認定するものに限る）		
		【5点】 三段以上（公益財団法人全日本剣道連盟が認定するものに限る）		
スポーツ歴 (最高5点)	中学校卒業後以降に、全国規模以上で行われるスポーツ大会に選手として出場した経験のある者	【3点】 中学校を卒業後に、日本選手権大会、国民スポーツ大会、全日本学生選手権、全国高等学校総合体育大会の全国大会又はこれに準ずると認める大会に選手として出場した経験のある者		
		【5点】 中学校を卒業後に、世界規模の大会に出場若しくは日本選手権大会、国民スポーツ大会、全日本学生選手権、全国高等学校総合体育大会の全国大会又はこれに準ずると認める大会に選手として出場し、同大会において3位以内の成績を収めた者		
語学 (各最高5点)	英語	【2点】 ①実用英語技能検定（英検）2級 ②TOEIC470点以上 650点未満（IPテストを除く） ③TOEFL（PBT）460点以上 522点未満 ④TOEFL（iBT）48点以上 68点未満 ⑤国際連合公用語英語検定（国連英検）C級	①合格証明書、スコアレポート又は段位を証明できる書類 ②スポーツ歴については、全国規模以上の大会での「選手の氏名」「大会名」「日付」「成績」がわかる資料	①受験申込書の「資格加点希望者記載欄」に必要事項を入力（記載）し、かつ、第1次試験（教養試験）当日の受付において、資格を証明する書類の原本を提示の上、写し（コピー）を提出した場合のみ加点対象とする。 ②複数の資格を有する場合については、最大15点までを加点する。
		【5点】 ①実用英語技能検定（英検）準1級以上 ②TOEIC650点以上（IPテストを除く） ③TOEFL（PBT）522点以上 ④TOEFL（iBT）68点以上 ⑤国際連合公用語英語検定（国連英検）B級以上		
	中国語	【2点】 ①中国語コミュニケーション能力検定（TECC）400点以上 550点未満 ②中国語検定3級 ③漢語水平考試4級		
		【5点】 ①中国語コミュニケーション能力検定（TECC）550点以上 ②中国語検定2級以上 ③漢語水平考試5級以上		
	韓国語	【2点】 ①ハングル能力検定準2級 ②韓国語能力試験4級		
		【5点】 ①ハングル能力検定2級以上 ②韓国語能力試験5級以上		
情報処理 (最高5点)	経済産業省所管の国家資格	【1点】 ITパスポート試験（IP） 【3点】 基本情報技術者試験（FE） 【5点】 応用情報技術者試験（AP）、ITストラテジスト試験（ST）、システムアーキテクト試験（SA）、プロジェクトマネージャ試験（PM）、ネットワークスペシャリスト試験（NW）、データベーススペシャリスト試験（DB）、エンベデッドシステムスペシャリスト試験（ES）、ITサービスマネージャ試験（SM）、システム監査技術者試験（AU）、情報処理安全確保支援士試験（SC）		
財務 (最高5点)	簿記	【2点】 日商簿記2級、全経簿記1級、全商簿記1級 【5点】 日商簿記1級、全経簿記上級		
免許 (5点)	厚生労働省所管の免許	【5点】 救急救命士		

6 合格者の決定方法



7 受験手続

●宮崎県の電子申請システムから、電子申請（インターネット）で申し込んでください。

【アクセス方法】

宮崎県警察本部ホームページの「採用情報」から①、②いずれかの方法でアクセスすることができます。

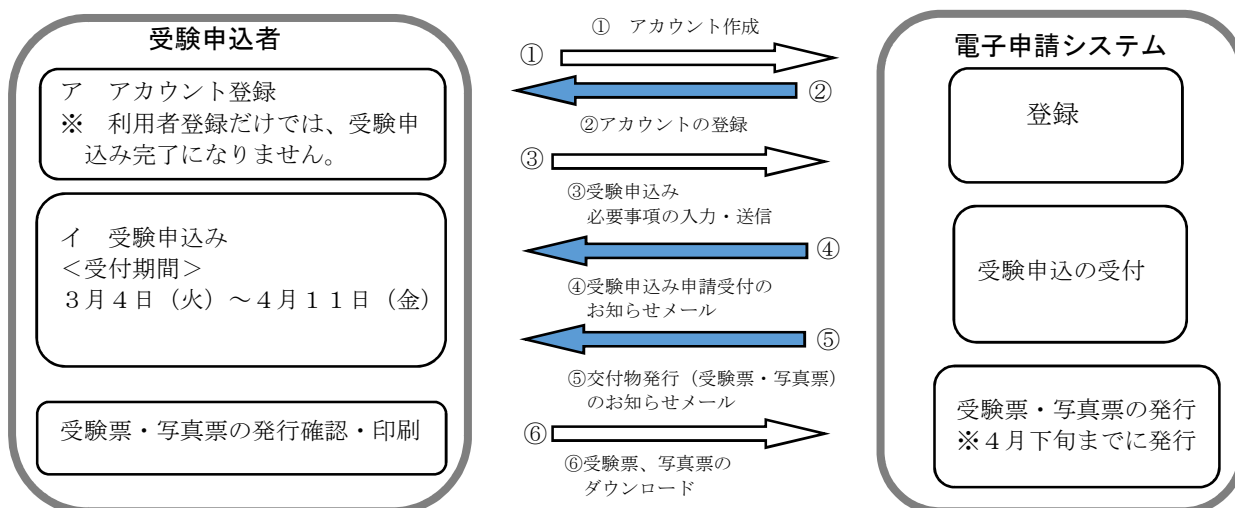
- ① 「試験案内」＞「警察官A」＞「受験申込み欄」のURLからアクセス
- ② 「受験申込み」＞「警察官A」＞試験区分を選択

宮崎県
警察 HP
採用情報



申込方法	「ア アカウントの作成」を済ませた上で、「イ 受験申込み」を行ってください。 ア アカウントの作成（無料） ・①②いずれかの方法で申込み画面にアクセスした後、ページ下部の「新規登録またはログインして申請」をクリックし、「新規アカウント登録」を選択する。 ・「氏名・メールアドレス・パスワード」又は「外部サービス（Google 若しくはLINE）」のいずれかの方法でアカウントを登録する。 （詳細は宮崎県警ホームページ「受験申込み」を御参照ください。） アカウント作成だけでは受験申込み完了にはなりませんので、必ず「イ 受験申込み」の手続きまで行ってください。 イ 受験申込み、受付メールの確認 ・入力フォームに必要事項を入力して受験申込みを行ってください。申込み後、入力していただいたメールアドレスに申請受付のお知らせメールが送信されます。 問合せ先 宮崎県警察本部警務部警務課人事係 電話 0 1 2 0 - 0 3 2 - 3 1 4 （採用フリーダイヤル） 0 9 8 5 - 3 1 - 0 1 1 0 （代表） 受付時間 8:30 ～ 17:15（土・日、祝日を除く。）
受付期間	3月4日（火）～4月11日（金） ※ 受験申込者側のパソコンの機能停止やインターネットの通信障害等が発生する可能性もありますので、できるだけ時間に余裕を持って申請してください。
受験票・写真票の交付	4月下旬までに登録されたメールアドレスに受験票・写真票発行をお知らせするメール（「交付物発行のお知らせ」）を送信しますので、メール本文のURLにアクセスして、「交付物」から受験票・写真票をダウンロードしてください。受験票・写真票は各自で印刷の上、写真票に写真（縦4cm×横3cm）を貼って、試験当日に受験票とともに持参してください。「受験申込書」を印刷・持参する必要はありません。

※ インターネット申込みの流れ



8 合格から採用まで

最終合格者は、各都県の採用候補者名簿（原則として1年間有効）に成績順に登載されます。

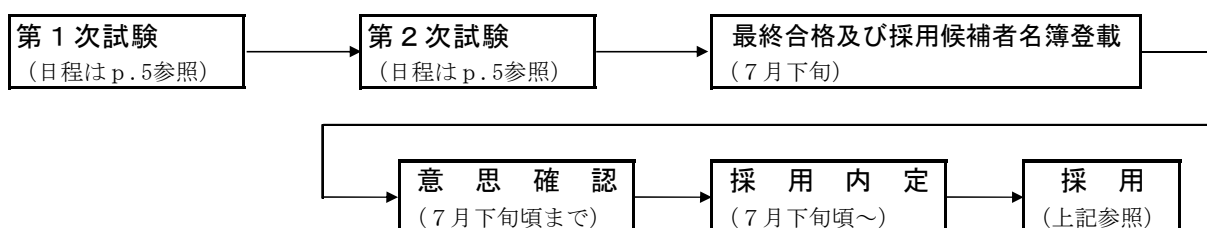
各都県の任命権者（宮崎県警察本部長又は警視総監）は、この名簿の中から採用者を決定しますが、警視庁については、手続が異なるところもありますので、警視庁にお問い合わせください。

採用の時期は、原則として令和8年4月以降ですが、場合によっては、それ以前に採用されることがあります。

また、最終合格者数は最終合格発表後の辞退を考慮して、原則として採用予定数よりも多く決定されますので、試験に合格しても成績が下位等の場合は採用されない場合があります。

なお、受験資格の卒業見込者については、本試験案内の「2 受験資格」に記載されている日までに卒業できない場合、採用される資格を失います。

（参考1） 宮崎県の場合のフロー図



（参考2） 宮崎県の令和6年度試験結果

種 類	採用予定数	第1次試験 受験者数	最終合格者数	競争倍率
	※C (人)	A (人)	B (人)	A/B (倍)
警察官A (男性)	20	38	22	1.7
警察官A (女性)	9	8	6	0.9
警察官A (情報工学)	1	1	1	1.0

（注）採用予定数は最終合格者数の決定時点のものです。

警察官A（女性）は、第1次試験受験者数が採用予定数を下回ったため、競争倍率は「A/※C」で算出。

9 給与・勤務条件等（令和7年4月1日現在）

（1） 採用後の進路

採用後は巡査に任命され、各都県警察学校に入校し、6か月間の初任科教養を受け、終了後は巡査として勤務します。

なお、採用後は昇任試験制度等によりさらに上級警察官への道が開かれています。

（2） 給 与

給与の月額はいずれの都県によっても異なりますが、その範囲は月額248,800円～251,800円となっており、その他住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等の諸手当がそれぞれの支給条件に応じて支給されます。

10 試験結果の開示について

この試験の結果については、口頭による開示請求をすることができます。

受験者本人（代理人は不可）が受験票及び本人であることを証明する顔写真付きの書類（運転免許証、旅券、学生証等）を持参の上、午前8時30分（合格発表日のみ午前9時）から正午まで、午後1時から午後5時15分までの間に宮崎県警察本部へ直接お越しください。

※ 土曜日、日曜日、祝日及び年末年始の休日には、受け付けておりません。

※ 電話、はがき等による開示請求はできませんので、御注意ください。

試験	開示請求 できる人	開示内容	開示期間	開示場所
第1次試験	第1次試験不合格者本人 (注)	試験種目別得点 及び総合順位	宮崎県警察本部の 合格発表の日から 起算して6月の間	宮崎県警察本部 1階県民情報室
第2次試験	第2次試験受験者本人	試験種目別得点 及び第2次試験 までの総合順位		

(注) 警視庁を第2志望とした第1次試験不合格者は、警視庁の最終合格発表日（警視庁の第1次試験不合格者の場合は警視庁の第1次試験合格発表日）から本県第1次試験の結果の開示期間が終了する日（令和7年12月1日（月））まで開示請求することができます。

なお、警視庁の試験結果の開示については、警視庁に問い合わせてください。

11 試験問題の例題について

試験問題の例題については、宮崎県ホームページから宮崎県職員採用案内ホームページにアクセスし、「試験の例題」のページを御覧ください。

宮崎県ホームページアドレス

[<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/>]

12 試験関係情報の提供（緊急連絡）について

台風等による試験日程変更及びその他の緊急連絡を、宮崎県警察本部ホームページ「採用情報」欄に掲載することがあります。

13 共同試験に関する問合せ先

警視庁採用センター	〒183-8555 東京都府中市朝日町 3-15-1 【電話】0120-314-372
-----------	--

14 その他

この試験についての問合せは、宮崎県警察本部警務部警務課人事係にしてください。

フリーダイヤル 0120-032-314

代表電話 0985-31-0110